



学校だより

令和5年10月31日

No. 8 11月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

自分たちでつくった最高の思い出

校長 金子 博美

10月28日(土)、さわやかな秋晴れの下、今年度の運動会を開催することができました。この時期のインフルエンザの流行は異例という中、本校も直前まで学級閉鎖の不安を抱えておりました。保護者の皆様にはご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

6年生競技「今行くぞ! 助太刀綱引き」、練習ではいつも白組の勝利、赤組は一度も勝ったことがない、陣を変えても結果は同じと聞いていました。一体どうなるのか、勝敗以上に子どもたちの気持ちが気になっていました。そして本番・・・なんと一回戦の勝者は赤組でした。両手を挙げてガッツポーズ、友達と喜び合う姿は、まるで優勝が決まったかのようでした。そして2回戦。白組もさらにスイッチが入りました。その熱量は応援している子どもたちにも伝わったようです。座席にいる子どもたちも一本の綱の中央の印を見つめ、自然に「赤! 赤!」「白! 白!」と声援も大きくなりました。その瞬間、子どもたちの思いは一つになったと感じました。結果は、白組の勝利。全力ぶつかり合う名勝負でした。



高学年が全校のために役割を果たす経験をする 것도 今回の運動会では大事なねらいでした。自分の演技や競技が終わると任された仕事の場に駆けつけ、仲間と協力して玉入れのかごを設置したりアナウンスをしたり、レース番号を表示したり司会を務めたり、子どもたちは実に楽しそうに仕事にも取り組んでいました。子どもたちが自分たちで運動会を盛り上げました。まさに望んでいた姿であり、これこそ自分たちで最高の思い出をつくる姿です。～最後に、閉会式での「終わりの言葉」を紹介します。最高の締め言葉でした。

全校の皆さん、今日は運動会お疲れさまでした。そして、お忙しい中、お越しいただいた皆様、ありがとうございます。今日はとても素晴らしい運動会でした。私は、1年生から6年生までしっかりと練習の成果を発揮できていたと思います。1年生は、初めての運動会でしたね。しっかりと自分の力を出し切れましたか。2年生は、徒競走や玉入れで一生懸命頑張っている姿が印象的でした。3、4年生の演技では、動きだけでなく、鈴や太鼓の音もピツパリそろっていましたね。

そして、私たち5、6年生のソーラン節は、いかがでしたか。ソーラン節は私たち6年生にとって最後の演技となり、全力で踊りきることができました。また、5年生にソーラン節の伝統を引き継ぐことができ、6年生としての役目を果たすことができました。このような素晴らしい運動会を支えてくださった先生方、PTAの皆様、そして今日来てくださった保護者や地域の皆様、本当にありがとうございました。



これで「西リンピック ～思い出祭2023～」を終わります。 6年1組 幸村 夏天子

運動会での各学年の演技や競技の様子は、次号に掲載し、紹介する予定です。どうぞ、お楽しみに。